Niigata Forestry Magazine

にいがた山しごと情報誌

Vol.4

森林・林業に興味のある方必見！

【掲載事業体】

株式会社戸田組

柏崎地域森林組合

株式会社中嶋木材

ゆきぐに森林組合

林業に就業するための
アドバイスが満載です

TAKE FREE!!

発刊に当たって

公益社団法人新潟県農林公社　代表理事　岡村 均

このたび、フォレストリーマガジンの第四刊を新潟県農林公社で発行することとなりました。

当公社では、グリーンワークセンターで農林業に関し、無料で職業紹介所を行っていますが、特に林業の就業に関しては、平成9年に「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき新潟県林業労働力確保支援センターを設立し、新たに林業に就業しようとする方に林業の雇用状況等県内の林業に関する情報提供を行うとともに、雇用管理の改善や事業の合理化に取り組む林業事業主の方の支援等を行っています。

さて本県の森林は、面積が86万haと全国6番目の規模を有し、県土の保全や水資源の涵養、二酸化炭素の固定等多様な機能を発揮しているところですが、年間の素材生産量は約14万㎥（平成26年度）と全国34番目の生産量で林業生産活動は低位な状況にあります。

このような中、本年春には新潟東港において木質バイオマス発電所が稼働し、多くの木材が必要となってきます。これまで手が入れられず、低質となった木材や、伐採しても商品とならず放置してきた端材が新たにエネルギー源として活用が可能になることは、素材生産活動を活性化させる大きな要因となるものと考えています。また、ヨーロッパにおける中高層建築として注目を集めているＣＬＴ（直行集成板）等の新たな木材利用への取り組みや、２０２０年東京オリンピック、パラリンピックでの木材利用といった国レベルの大きな取り組みを通じて、ますます木材需要が高まっていくものと思っています。

当公社では昭和48年度から平成16年度までの32年間に渡り、約1万haの森林を分収造林として造成してきており、今後は木材の供給基地として重要な役割を担って行かなければならないと考えています。

このような状況から、「緑の担い手」の確保と技術者の養成は喫緊の課題となっているところです。この雑誌を手に取られ、少しでも森林・林業に興味を持たれましたら、ぜひ関係事業体や当公社の支援センターにお問い合わせください。お待ちしています。

目次

林業のキホン作業 …… p. 1
林業の安全対策 …… p. 2
林業の七つ道具 …… p. 3
【林業事業体レポート】
●株式会社戸田組 …… p. 4
●柏崎地域森林組合 …… p. 8
●株式会社中嶋木材 …… p. 12
●ゆきぐに森林組合 …… p. 16
現場で活躍！高性能林業機械 …… p. 20
〈山仕事インタビュー〉
森林施業プランナーのお仕事とは？ …… p. 21
林業の担い手に対する支援事業 …… p. 22
林業事業体に対する支援について …… p. 25

Forestry Basic Work

林業のキホン作業

基本は昔も今も同じ、昭和40年代の写真で見る

林業の仕事を知る上で、基本的な流れとその内容を、昭和40年代のなつかしい写真入りで解説します。現在では、これらの諸作業は一部機械化され、より効率的に進められるようになりましたが、基本は変わりません。多くの先人の知恵と汗の結晶である林業のキホン作業をこの機会に見直してみましょう。

間伐

植栽後20～30年程度経過すると、造林木（スギ）同士で競争が始まり、次第に優劣が付いてきます。「間伐」とは、劣勢のものを除去し優勢のものを残すことにより、主伐時に価値の高い林を作ることが目的。ただし、ある程度混みあった林を伐採する場合は、間伐従事者には高い技術が求められます。

主伐

林業の最終段階で、収穫とも言います。新潟県の人工林ではここまで80年程度かかります。写真（右）は、ブナの天然林伐採風景（架線集材）。

地拵え（じごしらえ）

植栽するための準備作業。スギ等の伐採跡地に残った枝葉等を集め、筋状に配置したり、火を入れて焼き払ったりして、植栽しやすい環境にするものです。

植栽

苗木を植える作業。植栽時には縄などを張り間隔をきれいに揃えます。苗木には土が付いておらず乾燥に弱いことから、植栽地に仮植（かしょく）し、植える分だけ掘り出して使います。

下刈

苗木を植えてから10年程度、毎年行う作業。草を刈らないでおくとスギに日光が当たらなくなるため、スギが小さい時は年2回行います。

枝打ち

節のない優良な材を生産するために行いますが、効果としては雪害の防止や病虫害からの保護などの面もあり。樹皮むけを防ぐために、基本的には晩秋から冬期の生長休止期に実施します。

Forestry Safety Measures

林業の安全対策

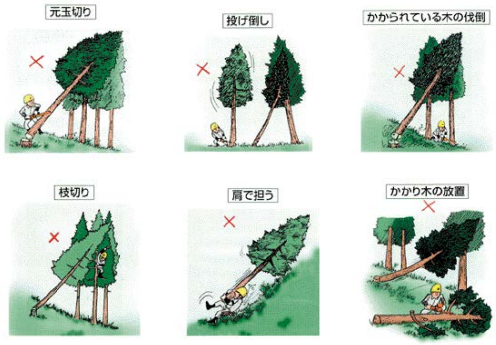
急な斜面や不安定な足場の山の中、チェーンソーなどの刃物を用いて、重量のある木を伐採し運搬する、森林作業は様々な危険をはらんでいます。そのような中で重大な労働災害の発生を避けるため、安全対策が講じられており、チェーンソーについてだけでも、次のような危険性と安全対策があります。

01 安全な作業方法を身に付ける

チェーンソーを用いて木を伐採する作業は、「特別教育」を受けた人以外はしてはいけないこととなっています。この特別教育を修了することが、いわゆる「チェーンソー使用資格」を取得するということになります。

この「特別教育」ではチェーンソーの整備点検方法から、始動方法をはじめとする扱い方、具体的な伐採方法を学科と実技を交えて実施します。チェーンソーの危険性や、危険性の高い「かかり木処理」の仕方、災害事例についても学びます。

かかり木処理の禁止事項



02 危険な刃から身を守る

安全な操作方法を身に付けた人でも、現場によって様々な地形や天候の中で作業するため、万が一の事態に備えなくてはいけません。そのため、チェーンソーの切創事故の6割を占める「脚部」を保護する防護衣の着用が義務化されています。防護衣の中は特殊な繊維の層で構成されていて、回転するチェーンソーの刃が当たると繊維が絡み付いて回転が止まり、体が切れることを防ぎます。防護衣には、作業着の上から取り付けるチャップス型や、そのままはくことができるズボン型などがあります。

チャップス型

ズボン型

03 振動障害から身を守る

チェーンソーは振動工具の部類に入るため、何も対策もせずに作業を続けることは白ろう病などの振動障害にかかるリスクを高めます。振動障害の対策としては、①防振機構が備わっているチェーンソーを選び、メンテナンスを適切に行う②防振手袋を着用する③他の作業と組み合わせるなどしてチェーンソーを操作する時間を減らす④体を冷やさないようにする（冬場は特に）⑤作業前後に体操を行なうなどがあります。また、振動障害の早期発見・早期治療のため年2回の特殊健康診断を受診し、作業の時だけでなく日常生活においても、体を冷やすことや、振動による刺激（バイクの運転など）をなるべく避けるようにするなど健康管理の徹底が必要です。

防振手袋

model：中蒲みどり森林組合 平光輝さん

Forestry Paraphernalia

林業の七つ道具

いろいろな道具を使って仕事を行う林業。
ここでは、主な道具や装備について説明します。
さまざまな道具を使いこなして、林業のプロフェッショナルを目指そう！

ヘルメット

大切な頭を守るため、必ずかぶります。切り粉の飛散防止、耳の保護のため、フェイスガードやイヤーマフが付いているタイプもあります。

手袋（防寒・防振など）

林業は、刃物を扱う仕事です。不意に刃に触れても怪我をしないよう手袋は必須です。

皮製や合皮、繊維強化タイプも使われます。

腰袋

伐採の時に使う小道具を入れます。チェーンソーの工具・ヤスリ、クサビ、クサビを打つハンマー、木材チョーク、砥石などが入っています。

ナタ・手鋸（てのこ）

山仕事では、ナタや手鋸が必需品。必ず腰に装備しています。フジのつる切り、簡単な測量杭作り、細い木の伐採などにも重宝します。

チェーンソー

言わずと知れた、林業の代表的な道具。上手に目立てが出来るようになれば、仕事のスピードもアップ。振動が少なくなり、燃料の消費も抑えられます。

チェーンソー防護衣

チェーンソーの刃が体に当たらない作業方法を身に付けることが最も重要ですが、万が一の事態に備え必ず着用します。

長靴

山の中では、短靴は禁物。脱げたり、ゴミが入ったり、笹などが刺さったりして危険です。木の上や粘土質の所を歩いても滑らないようスパイク付きのものを愛用している人も多いです。また、地下足袋も根強い人気があります。

緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌
Niigata Forestry Magazine vol.4

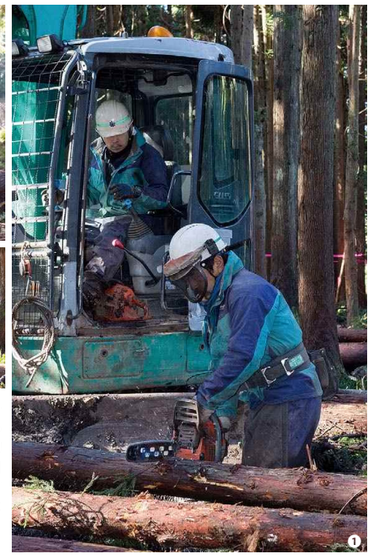
林業事業体レポート▶ File 01

株式会社戸田組

魚沼市

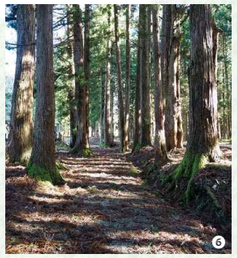
ふるさとの山を守りたいという強い思いで森林整備に取り組む

現場は南魚沼市の山口。八海山の入り口だから山口と名付けられたという。ヴウルスロボで材を集積しているのは森山修さん



❶間伐現場では森林技術員の山口公一さんと森山修さんがペアで作業を進めていた ❷チェーンソーで枝払い・玉切りを行う ❸森林施業プランナーの戸田ひろみさんと山の所有者の一人、種村さん。「ひろみさんのお勧めで整備してよかったです」

❹造材力アップのため、高性能林業機械を積極的に活用。ストローク式ハーベスタを操るのは社長の戸田東一さん ❺曲がった木が多い現場ではストローク式のハーベスタが大活躍 ❻戸田組の現場ではいつでも所有者が気軽に立ち寄れるように通路を整備。森林技術員は作業内容を説明するなど、コミュニケーションも大事にしている



建設業を主体とする株式会社戸田組が森林整備事業を始めたのは10年前。農業用水のメンテナンスなどの仕事を請ける中で、社長の戸田東一さんは山の荒廃が原因で川に流木が流れてくる状況に危機感を覚えたという。「このままでは山が崩れて生活用水の確保も難しくなる。山の整備を始めないといけない」との思いが森林整備事業着手への一歩を突き動かした。作業道作りをはじめ、骨材の採取など建設業で培ったノウハウを取り入れた独自の技術も戸田組の強みだ。

現在、多くの山が放置されている理由として所有者の高齢化と一つの山を何人かで共有した場合に全員の賛同を得る難しさが挙げられる。戸田組では山の安全性と将来に向けての健全性を説く、森林施業プランナーの戸田ひろみさんの功績が大きい。説明会を開催するほか、所有者が気軽に山に入れるように遊歩道を整備するなど、山に関心を持ってもらうための努力・工夫を惜しまない。生産性も重要だが山への敬意を第一にした丁寧な取り組みは、地元から厚い信頼を得ている。

緑の担い手

～大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち～

❶七日市の現場では3人の森林技術員が枝打ちを行っていた。チェーンソーで木を傷つけないようにノコギリも使い、丁寧に作業する ❷❸大阪の藤井電工と共同開発したオリジナルの安全帯。幅が太いので安定感があり、カラビナも2カ所に付けられる ❹胴綱を巻き、昇柱器を使って木に登る森林技術員の山田智明さん ❺左から森林技術員の星雅人さん、山田智明さん、大廣幸希さん、GPSやGIS（地理情報システム）担当の戸田有紀さん

山口 公一さん

Yamaguchi Koichi

［年齢：56歳　林業経験：20年］

事故を起こさないことを第一に

戸田組に来る前は森林組合に勤めていたので林業歴は長いです。仕事に慣れてしまったという過信から、慎重さに欠けてしまわないように、日々、気を付けています。実際、今でも自分が思ったような方向に木が倒れないときもあります。事故を起こさないために安全確認を十分に行います。特に伐倒の場合は、周囲に人がいないように確認して、必ず合図の笛を吹いてから倒しています。

森山 修さん

Moriyama Osamu

［年齢：37歳　林業経験：8年］

達成感こそ林業の最大の魅力

祖父が林業関係の仕事をしていたので、小さい頃から興味を持っていました。もともと自然が好きだったこともあり、29歳のときに戸田組に転職しました。間伐などを通じて山がきれいに明るくなっていくのを見るのはとても気持ちが良いですね。林業は危険面などのリスクもありますが達成感が大きいことが魅力だと思います。赤字にならないように効率良い作業を心掛けています。

事業体Data

株式会社戸田組

住所／魚沼市葎沢204-8　電話／025-792-0417
設立／昭和50年　資本金／300万円
従業員数／39人（森林部門8人）
勤務時間／8：00～17：00　主な勤務地／魚沼市周辺
主な従業事業内容／森林整備、土木事業、一般貨物運送ほか

事業主コメント　株式会社戸田組 代表取締役社長 戸田東一さん

平成16年の中越地震発生時に湯之谷の土砂崩れ現場で遠隔操作実作業を行って二次災害を防ぎました。そのときに地元でも災害が起きる前に森林を整備する必要性を痛感しました。経営的にはまだまだ厳しいですが10年間やってきた成果は感じています。今後はスタッフを増やして若手に技術を継承していきたいです。

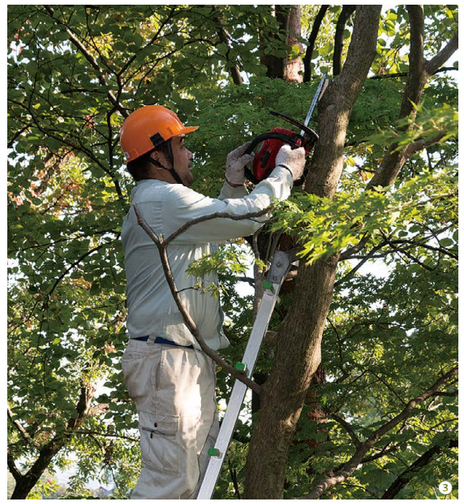
特殊伐採をはじめ技術力そして人間力を高める仕事を

柏崎地域森林組合は旧柏崎市、旧西山町、旧高柳町の各旧市町村内を区域としていたそれぞれの森林組合が広域合併して平成17年に設立し、昨年、10周年を迎えた。現在の主な仕事は利用間伐だ。森林技術員は17名。利用間伐、保育造林、特殊伐採の3つの班に分かれて作業をしている。中でも特殊伐採技術の高さは周辺エリアから注目を集める。

取材に訪れた日の現場は柏崎市の松雲山荘の特殊伐採。公園内の伐採は近くに障害物がある上、根元から木を倒すとほかの木を傷つけてしまう恐れもあり、難易度の高い仕事だ。地上10メートル以上の木に登り、中切り（木の上部から少しずつ伐採していくこと）で切った木を下に落としていく作業でプロの技術力の素晴らしさを見せてくれた。

組合では平成27年度の利用間伐5団地43ヘクタールを実現。年々と成果を伸ばしている。その成果の根本を支えているのは人間力あふれる人材の育成だ。組合長いわく「作業の効率化を図るのは高性能林業機械だが、機械を操るのは人間」。今後は3名の森林施業プランナーの活躍にも期待している。

枯れたマツの枝の伐採のため、チェーンソーを持って16メートルもの高さの木に登る、森林技術員の植木洋一さん。高い木の上での作業は危険度が高く、緊張感も高まる



❶16メートルもの高さのマツの木からツリークライミング用のロープを使って下りてくる森林技術員の植木洋一さん　❷特殊伐採チーム。左から桑原勝一さん、植木洋一さん、宮川和幸さん。「森林伐採はチームワークが何より大事です」とリーダーの植木さんは話す　❸1本梯子に登って枝を切る作業を行う、宮川和幸さん

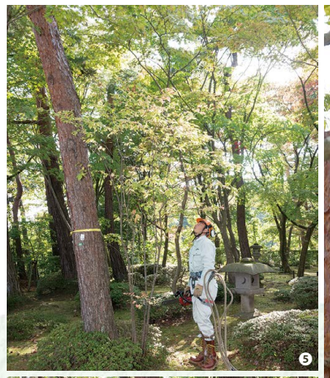
緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌

Niigata Forestry Magazine vol.4

林業事業体レポート ▶ File 02

柏崎地域森林組合

柏崎市



❹伐採で倒れた木が公園内のほかの木を傷つける危険性があるので、中切りで木を下に落としていく　❺木の上での作業は危険度が増す。万全な安全対策を施し、登る前には枝ぶりなども確認する　❻報告書用に木を切る前後には必ず写真を撮影する

緑の担い手

～大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち～

植木洋一さん

Youichi Ueki

［年齢：37歳　林業経験：5年］

プロ意識を持って取り組む

自然が好きでこの仕事を始めました。特殊伐採を含む樹木伐採、現場管理を担当しています。シビアな現場が多く、足がついてない状態での危険な作業も多いので、緊張感で気持ちが悪くなることもあります（笑）。常に集中力が必要な仕事ですが、やればやるほど技術は高まるので極めていく面白さもあります。ほかの仕事はできないし、これが自分の仕事だと思ってプロ意識を持って臨んでいます。

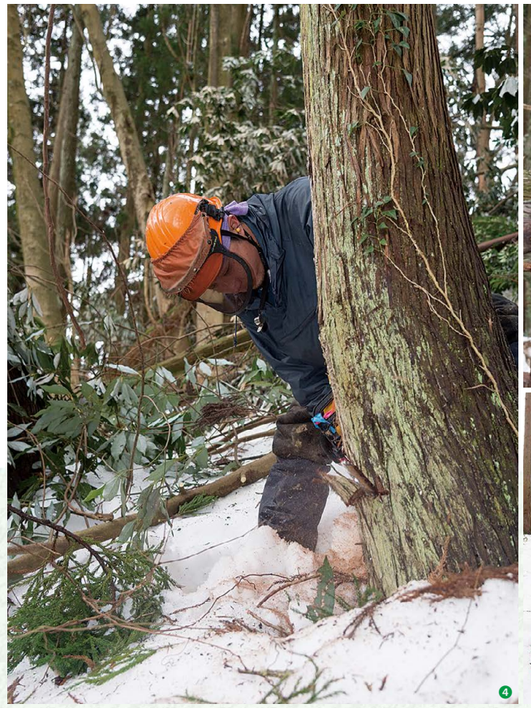
岩内 陽さん

Akira Iwauchi

［年齢：45歳　林業経験：16年］

地域の山を整備していきたい

アウトドアが好きなので林業を仕事にしました。体力的な厳しさもありますし、野外仕事なので暑い夏や寒い冬はキツイけれど、自然の中の爽快感や整備が終わったときの達成感が大きいです。残念ながら林業が好きなのにやめてしまった人もいますが、継続することでどんどん魅力が増してくる仕事だと思います。山主さんの希望を汲み取りながらもっと地域の山を整備していきたいです。



❶現場は旧西山町浜忠の7ヘクタールの森林。スギ林の間伐をメーンに、グラップルバケットで作業道作りも行われていた　❷林業経験5年目の駒野和宏さんは林業の仕事を通して自然が好きになったという　❸左から新潟県農林公社の相馬寛樹さん、森林作業員の駒野和宏さん、岩内陽さん、大橋俊さん　❹伐採のために受け口を作る大橋俊さんは、この仕事に就いて9ヶ月。技術向上を目指して奮闘中

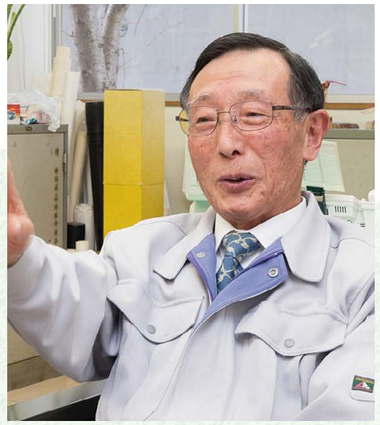
事業体Data

柏崎地域森林組合

住所／柏崎市三和町9-22　電話／0257-22-6212
設立／平成17年　資本金／1億1807万円
従業員数／21人（森林部門17人）　勤務時間／8:00～17:00
主な勤務地／柏崎市、刈羽村
主な従事業務内容／森林整備、特殊伐採、病害虫防除、販売ほか

事業主コメント　柏崎地域森林組合 代表理事組合長 仲野寿平さん

木の仕事1本でやってきましたがなかなか厳しい時代になってきています。今は利用間伐が主ですが少しずつ地域材が求められるようになってきたので、停滞している主伐を進め、伐採後の再造林も考えていきたいですね。人材育成を大切に若者がモチベーションを上げられる環境を目指しています。



菌床用おが粉事業で業績アップ！今後は森林整備に力を入れたい

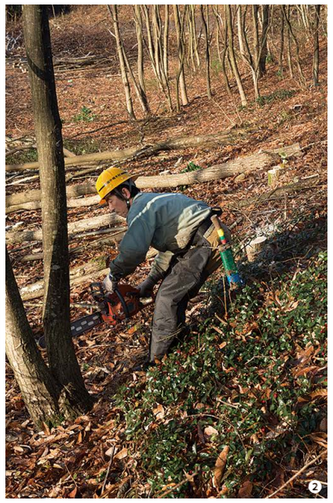
広葉樹を伐倒する中山作左ェ門さん。林業歴30年のベテランだが「広葉樹はスギよりも硬いのでチェーンソーを使うときは気をつけていますね」

取材で訪れたのは村上市朝日中野。この日の現場は以前、観光栗園があった場所で、栗を目当てに山から熊や猿が降りてきて、近くの畑にも被害が拡大。集落から「何とかしてほしい」との相談で全伐を行った。森林技術員は5名。広葉樹を伐倒する人、枝払いをし、玉切りする人、集積する人と分かれて作業を行っていた。

平成24年に事業拡大をきっかけに株式化した中嶋木材は、木材の価格が不安定な中、ブナやコナラなど広葉樹の乾燥おが粉を自社製造する事業で注目を集めている。きのこ業界では近年、原木栽培よりも菌床栽培が盛んになっているが福島原発事故以降は主産地である東北地方からの供給が減少。中嶋木材では25年春から菌床培地用のおが粉製造を始め、26年度の生産量は初年の倍以上にも及んだ。

安定需要があるおが粉とともに今後、中嶋社長が力を入れたいのが森林整備。広葉樹の伐採を促進することでナラ枯れに強い林作りを進め、さらに荒れた山々の間伐など山林の整備による林業の活性化を図る。

❶チェーンソーの目立てをする中山さん。「道具を丁寧に扱うことも安全な作業につながると思っている」と話す ❷伐倒を担当する中山さんは慣れた手つきでどんどん倒していく ❸左上から森林技術員の大滝栄市さん、大滝由博さん、佐藤和夫さん。左下から中山作左ェ門さん、中嶋社長、大滝学さん



緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌

Niigata Forestry Magazine vol.4

林業事業体レポート▶ File 03

株式会社中嶋木材

村上市

❹チェーンソーで倒した木の枝払いを行う。この材もおが粉に ❺集材時に大活躍するのがグラップル付きバックホウ ❻伐採した木を尺棒で計り、決められた長さに切っていく

❶

❷

緑の担い手

～大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち～

大滝 学さん
Ootaki Manabu
［年齢：37歳　林業経験：6年］

新潟県の林業を盛り上げたい

林業の魅力は、きれいに整備した山を眺めたときに「やってよかったな」と思えることですね。とても充実感がありますし、もっともっと新潟県が林業県として全国でも有名になれるように私もがんばって盛り上げていきたいと考えています。今、材の価格なかなか伸びないという厳しい状況が続いていますが、林業は絶対必要な職業であり、やりがいが見出せる仕事だと信じています。

中山 作左エ門さん
Nakayama Sakuzaemon
［年齢：66歳　林業経験：30年］

常に安全第一を心掛けています

ずっとこの仕事を続けていますが、常に心掛けているのが〝安全第一〟です。私の仕事は伐倒専門なので、毎日、チェーンソーを使います。慣れている作業ですが、一瞬でも気を抜くと危ないので慎重にやっています。林業は好きな仕事ですけど、冬の寒い時期や夏の暑いときは嫌になるときもありますね。木の素材によって切り方は変えますが、思った方向に倒れるのが何より面白いですね。

事業体Data

株式会社中嶋木材

住所／村上市早稲田1049-1　電話／0254-75-5627
設立／平成24年　資本金／500万円　従業員数／10人
勤務時間／8:00～17:00
主な勤務地／村上市周辺
主な従事業務内容／おが粉製造、森林整備、木材加工ほか

事業主コメント　株式会社中嶋木材 代表取締役 中嶋睦さん

収入面ではおが粉が大きな割合を占めていますが、これから力を入れたいのは森林整備です。私たちから声を掛けて山を持っている人たちに積極的にアプローチしていきたいですね。今、うちには30代の若手が3人いるので彼らには林業に関するオールラウンダーになってほしい。人材育成も大きな課題です。

❹

❸

❶中嶋木材の敷地内にあるおが粉製造棟。オペレーターなど4人のスタッフが作業に携わる。生産が追いつかないほど注文が殺到し、フル稼働が続いている　❷天井近くまでおが粉が積み上げられている　❸「良質の材料を使ったおが粉は粒がきれいです」と中嶋さん。きのこの種類によって粒の大きさや樹種を変えている　❹「県北は林業も盛んで山が豊かですよ」。村上産を中心に県内で伐採されたコナラなど、広葉樹を主に使用している

森林技術員は重機オペレーターの資格も取得している。プロセッサで枝払いと造材作業を行うオペレーターは森林技術員経験7年の熊倉広大さん

緑の担い手を目指そう! にいがた山しごと情報誌

Niigata Forestry Magazine vol.4

林業事業体レポート ▶ File 04

ゆきぐに森林組合

上越市

❶❷工場で作られるなめこは全国各地のスーパーなどへ出荷されている ❸平成23年に十日町市松之山小谷に完成した「松之山なめこ工場」では、培地の仕込みから培養・生産・パッケージまでを行う。工場の設立は地域の雇用にも貢献している

地元の広葉樹林を生かした なめこ生産業で林業を支える

取材で訪れたのは、上越市浦川原区の法定寺にある利用間伐現場。山が浅く、谷底に集落がある約3ヘクタールの森林は、斜面が急峻で、伐採も材の搬出にも時間がかかる。限られた条件の下、どのように効率的に作業を進められるかは、森林技術員の腕の見せ処となる。

平成3年に安塚町森林組合、浦川原村森林組合、大島村森林組合、松之山町森林組合、松代町造林組合が合併して設立された、ゆきぐに森林組合。昭和30年代から全国的に広葉樹を伐採し、スギを植林する国の政策が進められる中、スギの拡大造林をする際に伐採した広葉樹になめこの菌を植え付けたことをきっかけに食品加工を始めた。平成23年には十日町市松之山に大規模なめこ新工場をオープンし、なめこ生産に特化した地場産業化を目指す。

しかし組合の主となる仕事は間伐などの森林整備事業。なめこ生産が安定した分、赤字覚悟で森林所有者に利用間伐を勧める。「それが私たちの一番の仕事ですから」と組合長は笑顔で話した。

❹前列左から森林技術員の佐藤正さん、熊倉広大さん、後列左から森林施業プランナーの木南拓也さん、森林技術員の内山正典さん、森林事業部副部長の亦野利也さん、森林技術員の田中憲一さん、小出英一さん ❺曲がっている木の枝払いはチェーンソーで行う ❻高性能林業機械を活用し作業を効率化。プロセッサで倒した木を枝払いし、決められた長さに造材する

❶木を倒す前には幹の曲がりや枝ぶりなど木の重心を見極めてから伐倒作業に入る　❷木を倒したい方向に受け口を入れる。現場が斜面になっているので足場の確保も困難だ　❸倒した木の枝払いを行う、森林技術員の小出英一さん

緑の担い手
～大自然の中で、プロ意識を持って働く人たち～

熊倉 広大さん
Kodai Kumakura
［年齢：26歳　林業経験：7年］

中学からの夢を叶えました！

中学生の頃にテレビでチェーンソーを使って木を切る様子を見て、林業家を夢見て地元の農業高校林産課を卒業しました。この仕事が好きなのでどんな仕事でも楽しいです。体力的にはキツイこともありますが季節を感じられるなど、魅力がたくさんあります。今後の目標は組合をより良い形に変えていきたい。経験を積んでスキルを増やして、技術者としてトップを目指したいです。

佐藤 正さん
Tadashi Sato
［年齢：24歳　林業経験：6年］

仲間に恵まれた楽しい職場

この仕事に慣れるまでは体力的に辛いこともたくさんありましたが、とにかく職場の雰囲気が良いのです。先輩もやさしいし、本当に良い仲間たちに恵まれていると思います。仕事では、重機のオペレーターも木を伐ることも楽しいですが、常に緊張感はありますし木登りは特に怖いです。将来的には現場を仕切れるようになりたいと思っています。ずっとこの仕事を続けていきたいですね。

事業体Data

ゆきぐに森林組合

住所／上越市大島区棚岡1569-1　電話／025-594-2041
設立／平成3年　資本金／1億5621万円
従業員数／82人（森林部門17人）
勤務時間／8:00～17:00　主な勤務地／上越市、十日町市
主な従事業務内容／森林整備、木材加工、きのこ製造、食品加工ほか

事業主コメント　ゆきぐに森林組合 代表理事組合長 村松二郎さん

昭和30年代後半からなめこ栽培や食品加工業を始めました。この地域は山も低く、スギも育ちにくい。好条件でない中、本業以外の仕事に着手しながらここまでやってきたのは、地域の山を守るためです。今は間伐で利益を出すのはなかなか厳しいですが広葉樹の利用も考えて、間伐を進めていきたいです。

High performance machine

現場で活躍！

高性能林業機械

ここまでの林業事業体紹介でいくつかの高性能林業機械が登場しました。ここでは、それぞれの機械がどのような役割を果たしているか紹介します。現在は、山に入って活躍できるよう森林作業道を開設していくことが重要になっています。

プロセッサ

チェーンソーマンが切り倒した木をつかんで、枝払い、玉切りし、集積することができる機械。材の長さを設定すると、自動的にその長さの丸太を仕立てます。

ハーベスタ

プロセッサの機能に立木を切り倒す機能が加わった機械。この一台で山に生えている木を丸太の状態にすることができます。

フォワーダ

プロセッサやハーベスタが造材してできた丸太を、トラックの入ることのできる場所まで運搬する機械。

※この他にも、切り倒した木材をワイヤーを使って集材するスイングヤーダ、タワーヤーダなどがあります。

山仕事インタビュー
Forestry Interview

森林施業プランナーのお仕事とは？

森林施業プランナーに認定されると森林所有者から信頼を得て、提案型集約化施業に取り組みやすくなります。有資格者の戸田ひろみさんに話を聞きました。

地域の森林荒廃をきっかけに森林再生に向けて事業をスタート

私は岐阜の山奥育ちで、幼い頃から木に登り、山の中を駆け巡っていました。結婚を機に新潟に来ましたが、戸田組が林業に着手したのは10年前からです。荒廃した地域の森林を見て「私たちがやらなければ災害が起こってしまう」と、森林整備部門を立ち上げました。

森林施業プランナー（以下、プランナー）の資格を取得したのは、森林所有者さんに山を整備する必要性を文章でプランニングしなくてはと思ったからです。理解してもらうための裏付けをきちんと証明できる知識と信頼を得るために、そして自分のやってきたことが間違っていないかを確認するために試験を受けました。今も「資格があるからではなく、私、戸田ひろみがこの仕事に責任持ちます」と示すために、自分の力を確かめる意味で勉強を続けています。

現場での経験や努力を重ねてこそプランナーの知識が生かされる

プランナーの資格は〝ある程度の知識があって、整備計画も立てることができますよ〟というお墨付きみたいなもので、実際にプランナー取得で得た知識だけで相手を納得させられるほど、現場は簡単ではありません。

一番難しいのは所有者さんとの話し合いです。例えば説明会はプランナーの大事な仕事ですが、大人数が共同で一つの森林を所有している場合、全員が賛同するような説明会を開催しなければなりません。ドローンやＧＩＳ・ＧＰＳなどのソフト部分を活用してオリジナルの資料を作っています。

大勢の人に納得してもらうためにはとにかく根気が必要です。そして、プランナーとして山の安全に責任を持つためには長い時間、山を見続けることが重要です。現場には何度も足を運んで判断力を養いましょう。

プランナーを取得し、経験を経ることで人間としても成長できる

うちでは所有者さんは作業中でも、気軽に現場に来て良いことにしています。所有者さんに自分の山にもっと関心を持ってもらいたい。森林整備は実際には所有者さんが作業をしているわけではありませんが、〝参加している〟という意識を持ってもらえたら、とても大きな成果だと思うんです。

そのためには所有者さんに山への思いを聞くことが大切です。自分のものではない山に関わるということは、所有者さんたちの思いを十分に受け止めて、敬意を持って山に入らなければならないと思います。プランナーは所有者さんの話を聞きながらも自分がやらなければいけない計画とのバランスを上手に取らなければいけません。聞く力が磨かれると人生が豊かになりますよ。プランナー取得をきっかけにいろいろな経験を通して人間としても成長されるといいなと思います。

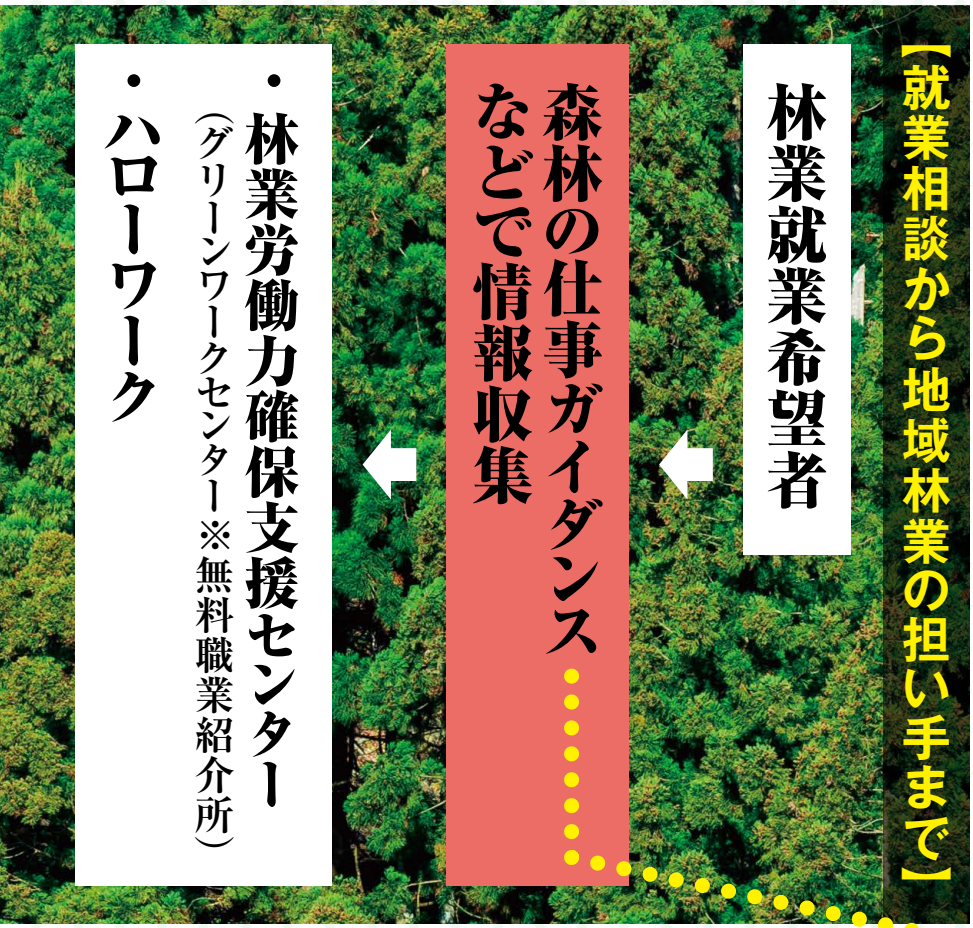
私は65歳までに引退したいと思っています。それまでに私が林業で経験したことや本当の意味でのプランナーとしての〝人との関わり〟を伝えていけたらと考えています。

株式会社 戸田組 取締役
戸田ひろみさん
一級土木施工管理技士、林業技士（森林総合管理・経営・環境）、作業道作設士、森林施行プランナー、森林評価士

Forestry Support Service

林業の担い手に対する支援事業

林業労働力確保支援センターは、「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づき、①林業事業体の雇用管理の改善支援②林業事業体の実施する事業の合理化支援③林業に就業しようとする人の就業支援を行い、林業労働力の確保を図ることを目的として設置されている機関です。ここでは、「③林業に就業しようとする人の就業支援」を中心として、新潟県林業労働力確保支援センターの行う事業を紹介します。



【就業相談から地域林業の担い手まで】

林業就業希望者

森林の仕事ガイダンス……などで情報収集

- **林業労働力確保支援センター**（グリーンワークセンター※無料職業紹介所）
- **ハローワーク**

01 就業相談会等の参加・開催

（1）森林の仕事ガイダンス（全国森林組合連合会 主催）

「森の仕事ガイダンス」とは、新たな林業の担い手の確保・育成を目的に、林業に興味のある方、就業を希望する方を対象とした説明・相談会。各都道府県、ハローワーク等がブースを設けて就業相談を実施するものです。例年1月に東京、大阪等で開催されます。

森林のガイダンス2016

（2）新規就農・就業チャレンジフェア（農林業就業相談・面談会）等の開催

右記ガイダンスの他、新潟県内では『にいがた新規就農・就業チャレンジフェア』と題した就業相談会が新潟市や長岡市等で開催されており、県内の林業事業体との就業相談や面談をすることができます。

新規就農・就業チャレンジフェア（農林業就業相談・面談会）

02 林業就業支援講習等の開催

(1)林業就業支援講習（厚生労働省委託事業）

新たに林業への就業を希望とする人を対象に座学と実習で林業を体験する講習で、知識や技術をじっくりと身につけてもらう16日間コースと、林業体験をメインとする4日間コースがあります。全国各地で実施されており、新潟県では例年16日間コースを春に、4日間コースを秋に実施しています。

林業就業支援講習（16日間コース）

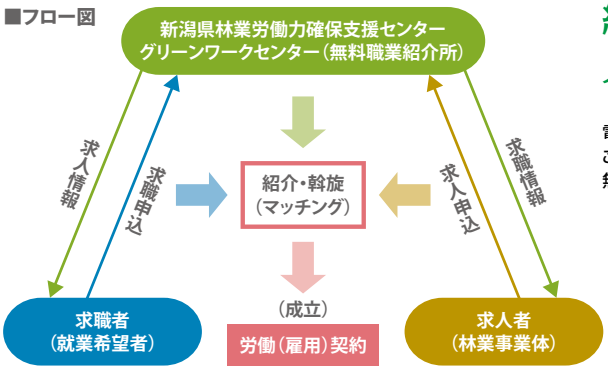
林業就業支援講習（4日間コース）

(2)【WOOD JOB! 森の仕事体験】（新潟北部林業振興協議会へ委託）

青少年を対象に林業への就業促進を目的とした合宿形式（1泊2日）の「青少年森林・林業体験塾」です。

※8月実施予定

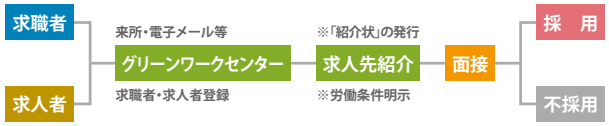
■フロー図



緑の担い手を目指す人の相談窓口 ～グリーンワークセンター～

新潟県内の林業就業に関する相談窓口（グリーンワークセンター）を設置しています。電話やホームページのお問い合わせフォームで受付しているほか、センター事務所までご来所いただいての相談にも対応しています。当センターでは職業安定法第33条に基づき無料職業紹介所としての許可を得ており、林業に関する職業斡旋も行っております。

■職業紹介・斡旋の流れ



就業後のキャリアアップ支援事業

03 緑の雇用・現場技能者育成研修

緑の雇用・現場技能者育成研修では、森林組合などの※認定事業体に採用された新規就業者の方に、林業で必要な技能を学んでもらうため、同事業体を通じて講義や実習を行うことでキャリアアップを支援しています。一人前になるには数年かかるといわれている林業。林業の現場技能者としてのスペシャリストになるには様々な技能を習得する必要があります。

「緑の雇用」事業では就業年数に応じて、さまざまな技能を身につけられるよう、研修の内容をステップアップさせ、体系的に学べる研修プログラムが用意されています。（緑の雇用ウェブサイトより一部改変）

※林業労働力の確保の促進に関する法律第5条で定める林業労働力確保改善計画を都道府県知事に認定された林業事業体

緑の雇用ウェブサイト
http://www.ringyou.net/

04 森林施業プランナー

持続的な森林経営を推進するため、森林所有者に対して、森林施業の方針や利用間伐等による事業収支等を見積もった施業提案書を提示して、その施業を受託し、その施行管理をマネジメントするのが森林施業プランナーです。地域の森林をよく理解しうまく活用していくための企画力とそれを森林所有者に伝える提案力が求められます。

森林施業プランナーになるためには、森林施業プランナー協会が行う一次試験に合格し、一定の集約化施業の実績を作ったうえで二次試験に合格、認定を受けることが必要です。林業労働力確保支援センターでは、間伐の作業システムやコスト管理、所有者への提案方法についてなど、森林施業プランナーとして必要な知識・技能を身に付ける研修を実施しています。

21ページでは現在活躍中の森林施業プランナーを紹介しています

森林施業プランナー認定制度ポータルサイト
http://shinrin-planner.com/

Forestry Support Service

林業事業体に対する支援について

●高性能林業機械の貸付

新潟県林業労働力確保支援センターでは、森林施業の効率化及び労働強度の低減に有効な高性能林業機械を22台所有し、認定林業事業体への貸付を行っております。

■機種別の台数
（平成28年2月29日現在）

プロセッサ	5台
ハーベスタ	1台
フォワーダ	8台
その他	8台

平成28年度 新たに導入したフォワーダ

●高性能林業機械の購入、レンタル料助成

民間レンタル会社から、高性能林業機械を借りた認定林業事業体に対し、年間レンタル料の合計の1/5以内（1事業体あたりの上限は50万円）を助成します。

■対象機械

プロセッサ、ハーベスタ、フォワーダ、スイングヤーダ、タワーヤーダ、フェラーバンチャ、スキッダ、木材用グラップル

※このほかに、社会保障推進奨励、森林施業プランナー・フォレストワーカーの育成奨励に関する助成事業を認定林業事業体に対して実施しています。

●林業雇用管理改善指導

林業就業希望者に対しての講習開催や相談対応などと併せて、受け入れ側となる事業体の雇用管理改善を支援することは就業促進・職場定着を図る上で重要です。認定林業事業体に対する巡回指導や、電話・メールにて随時相談を受け付けているほか、雇用管理の専門家を講師とした雇用管理者研修会を開催しています。

＜お問い合わせ先＞

公益社団法人新潟県農林公社 林業労働力確保支援センター

住所／新潟市中央区新光町15-2 新潟県公社総合ビル
電話／025-285-7711　FAX／025-285-5070
URL／http://www.niigata-rinrou.com/

【にいがた山しごと情報誌 Niigata Forestry Magazine Vol.4】 平成28年3月刊

新潟県 認定事業体一覧

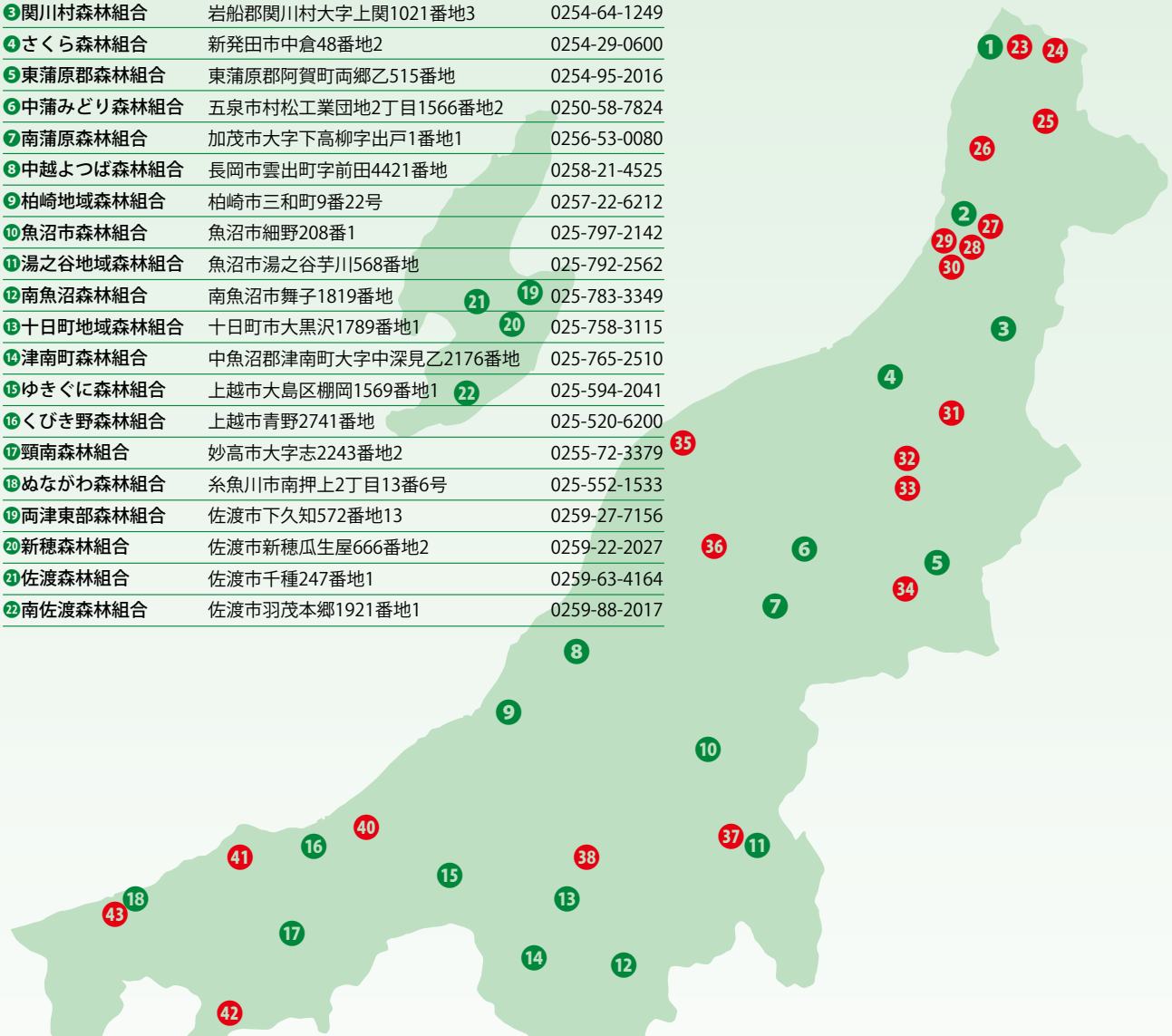
平成28年2月29日現在

■認定事業体とは……

林業に従事する中で、雇用管理の改善と事業の合理化などの「改善計画」を作成し、新潟県知事の認定を受けた事業体のことです。

【森林組合】

❶村上市森林組合	村上市府屋121番地2	0254-77-3121
❷いわふね森林組合	村上市羽黒町2番38号	0254-52-1593
❸関川村森林組合	岩船郡関川村大字上関1021番地3	0254-64-1249
❹さくら森林組合	新発田市中倉48番地2	0254-29-0600
❺東蒲原郡森林組合	東蒲原郡阿賀町両郷乙515番地	0254-95-2016
❻中蒲みどり森林組合	五泉市村松工業団地2丁目1566番地2	0250-58-7824
❼南蒲原森林組合	加茂市大字下高柳字出戸1番地1	0256-53-0080
❽中越よつば森林組合	長岡市雲出町字前田4421番地	0258-21-4525
❾柏崎地域森林組合	柏崎市三和町9番22号	0257-22-6212
❿魚沼市森林組合	魚沼市細野208番1	025-797-2142
⓫湯之谷地域森林組合	魚沼市湯之谷芋川568番地	025-792-2562
⓬南魚沼森林組合	南魚沼市舞子1819番地	025-783-3349
⓭十日町地域森林組合	十日町市大黒沢1789番地1	025-758-3115
⓮津南町森林組合	中魚沼郡津南町大字中深見乙2176番地	025-765-2510
⓯ゆきぐに森林組合	上越市大島区棚岡1569番地1	025-594-2041
⓰くびき野森林組合	上越市青野2741番地	025-520-6200
⓱頸南森林組合	妙高市大字志2243番地2	0255-72-3379
⓲ぬながわ森林組合	糸魚川市南押上2丁目13番6号	025-552-1533
⓳両津東部森林組合	佐渡市下久知572番地13	0259-27-7156
⓴新穂森林組合	佐渡市新穂瓜生屋666番地2	0259-22-2027
㉑佐渡森林組合	佐渡市千種247番地1	0259-63-4164
㉒南佐渡森林組合	佐渡市羽茂本郷1921番地1	0259-88-2017



【その他認定事業体】

㉓岩佐木材有限会社	村上市府屋197番地11	0254-77-2041
㉔有限会社みつば	村上市杉平173	0254-77-2149
㉕高根生産森林組合	村上市高根804番地1	0254-73-0265
㉖株式会社中嶋木材	村上市早稲田1049-1	0254-75-5627
㉗有限会社山作	村上市山屋1715番地2	0254-66-7345
㉘有限会社丸実	村上市桃川1085番地1	0254-66-5628
㉙カネか渡辺建材株式会社	村上市今宿45番4	0254-66-5328
㉚有限会社阿部林業工務店	村上市松沢143番地	0254-66-6440
㉛若月建設株式会社	新発田市小戸1305番地	0254-31-4111
㉜有限会社中惣林業	東蒲原郡阿賀町綱木2029番地	0254-99-3446
㉝有限会社馬場工務店	東蒲原郡阿賀町細越534番地	0254-99-3592
㉞株式会社マルワイ	東蒲原郡阿賀町日野川乙1889番地	0254-95-2264
㉟新潟県森林組合連合会	新潟市西区曽和521番地3	025-261-7111
㊱株式会社マルユー	五泉市上大蒲原1530	0250-58-8688
㊲株式会社戸田組	魚沼市葎沢204番地8	025-792-0417
㊳株式会社村山土建	十日町市山本71番地1	025-752-3721
㊴株式会社見晴屋林業	南魚沼郡湯沢町大字三国1102番地1	025-789-3493
㊵株式会社いぶき	上越市頸城区百間町592-6	025-530-4480
㊶株式会社牛木組	上越市名立区名立大町1630番地1	025-537-2316
㊷株式会社和信建設	妙高市大字杉野沢1675番地1	0255-86-6245
㊸カネヨ運輸株式会社	糸魚川市大字須沢3413	025-552-2520

★新潟県の林業に興味を持った方は

公益社団法人 新潟県農林公社「新潟県林業労働力確保支援センター」のHPをチェック!!

http://www.niigata-rinrou.com/

新潟　林業　センター　検索

発行・監修／公益社団法人 新潟県農林公社「新潟県林業労働力確保支援センター」〒950-0965 新潟市中央区新光町15-2 公社総合ビル 025-285-7711